

令和8年度 第2回
宇土市地域公共交通会議
宇土市地域公共交通活性化協議会資料

令和8年11月4日(水)9時30分～

宇土市役所別館2階　講習室

議　事

協議事項

【議案第1号】宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について　P2

1. 地域公共交通計画の改定に係るポイント　P2
2. 本市の地域公共交通の状況報告　P5
3. 高校生アンケート調査結果報告　P18
4. 高齢者アンケート調査結果報告　P28
5. 地域公共交通に対する課題整理　P30

【議案第2号】予約型乗合タクシー「のりのり号」新規指定乗降場所等について　P38

報告事項

【報告第1号】新たなバス共通定期サービスについて　P41

【今後の予定】　P43

1. 地域公共交通計画の改定に係るポイント

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

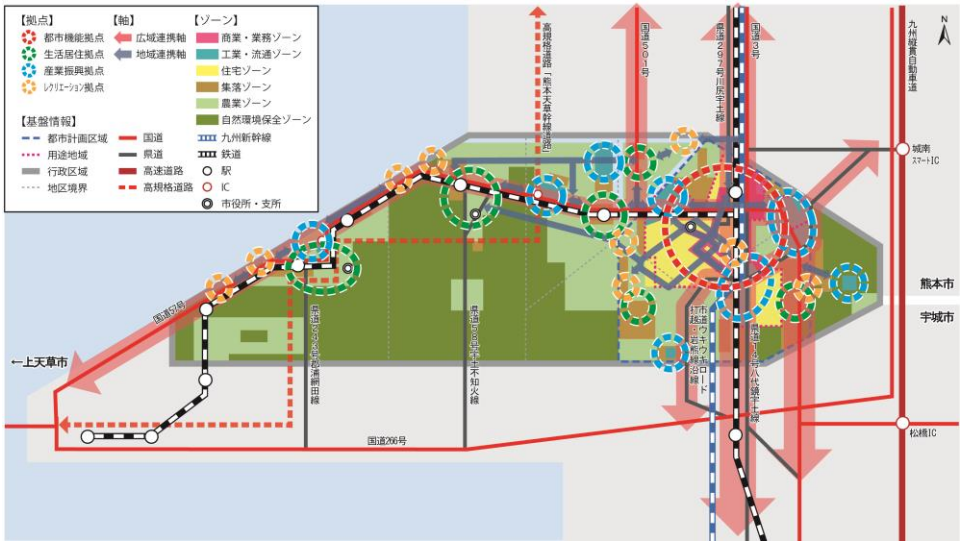
1. 地域公共交通計画の改定に係るポイント

（１）現行計画の目標年次の到達

本年度に目標年次を迎えるため、**計画の進捗及び成果を評価**し、多様な関係者が連携して取り組む、持続可能な計画への改定が必要です。

（２）上位・関連計画等との連携・整合性確保

・都市計画マスタープランが令和6年度に改定され、第7次総合計画が令和8年度に策定予定です。
→第7次総合計画との整合を図りつつ、将来都市構造に基づき、**拠点間を結ぶ公共交通ネットワークを構築し、「つながるまち」の実現**の推進が必要です。



▲将来都市構造図（都市計画マスタープランより）

議案第1号

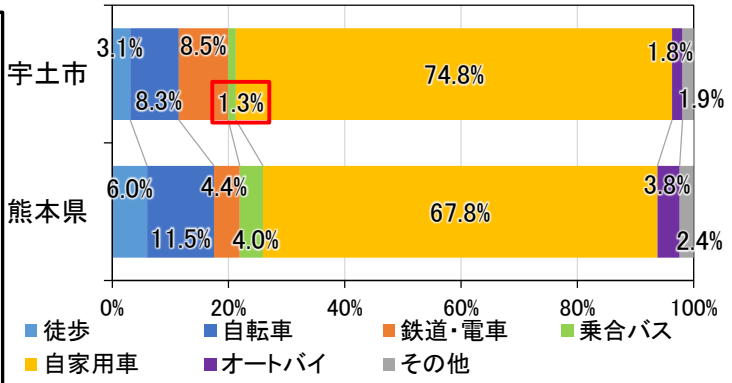
宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

1. 地域公共交通計画の改定に係るポイント

（３）交通を取り巻く課題の変化

・地域における高齢化が進展し、移動ニーズが拡大しています。
・本市の住民の利用交通手段の割合は、
公共交通（鉄道・電車・乗合バス）全体で約１割です。
・本市のコミュニティ交通の利用者は年々増加傾向にありますが、収支率は約１０％と、財政負担が大きい状況です。
・令和７年１０月の九州産交バスの路線再編に伴い、
新たな交通不便地域が発生しています。
・労働規制強化等により、運転手の確保が困難になっています。

→交通空白・不便地域の移動手段確保、運行効率化、担い手確保、利用者増加施策、新たな交通手段の導入等の推進が必要です。



▲利用交通手段の割合（令和2年度国勢調査）

（４）新技術の進展と新たな制度の創設

・「地域公共交通のリ・デザイン」が推進され、**地域の関係者が連携した交通体系の再構築**が求められています。また、公共交通空白地対策として、ライドシェア等の新たな制度の活用についても検討が必要です。

→新たな技術・制度の動向を踏まえ、既存施策との連携を図りながら、地域特性に応じた導入可能性を検討し、**持続可能な地域公共交通の実現に向けた施策**の検討が必要です。

2. 本市の地域公共交通の状況報告

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

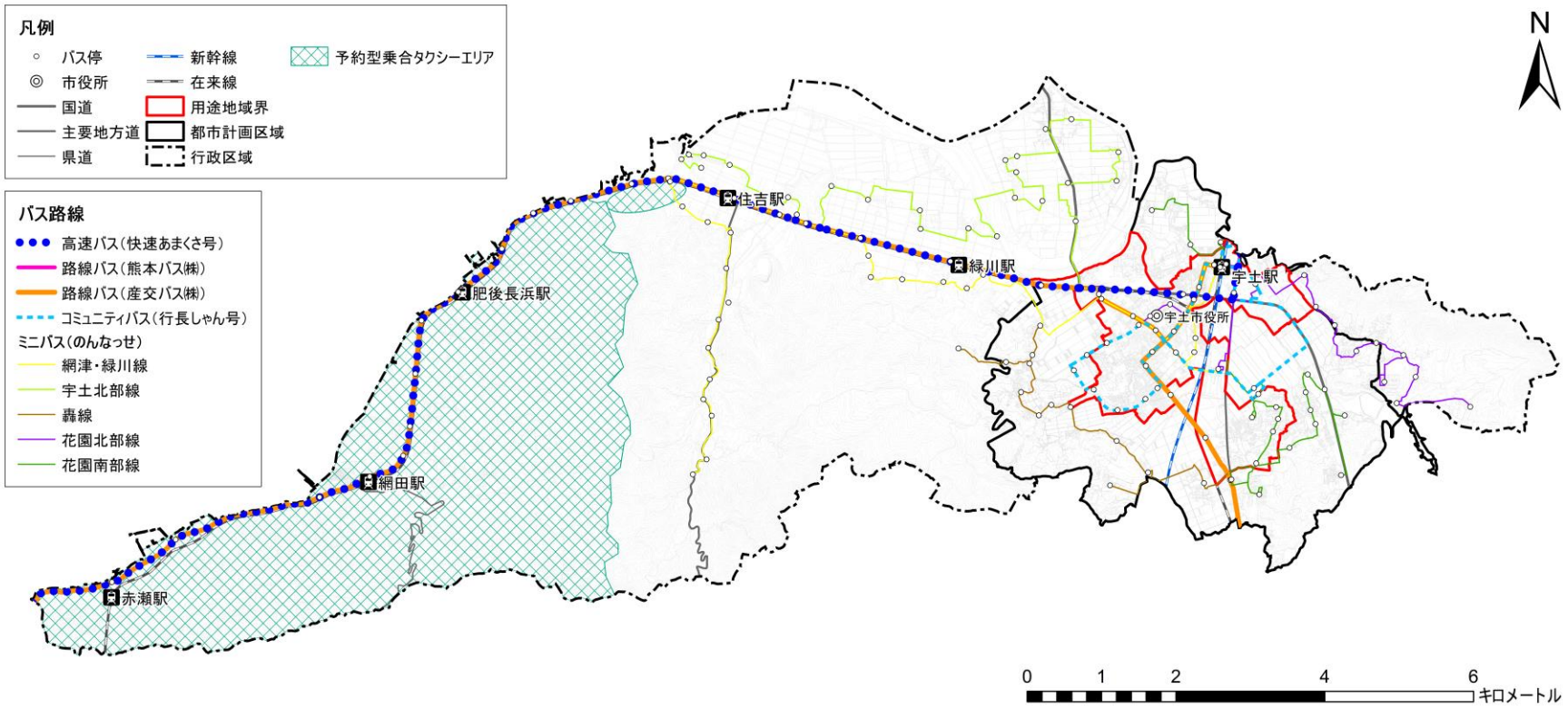
議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（１）現状の地域公共交通の種類

本市の地域公共交通は、JR鹿児島本線及びJR三角線、路線バス、コミュニティバス「行長しゃん号」、ミニバス「のんなっせ」、予約型乗合タクシー「のりのり号」、タクシー、福祉バス「あじさい号」等の多様な交通モードによって構成されています。



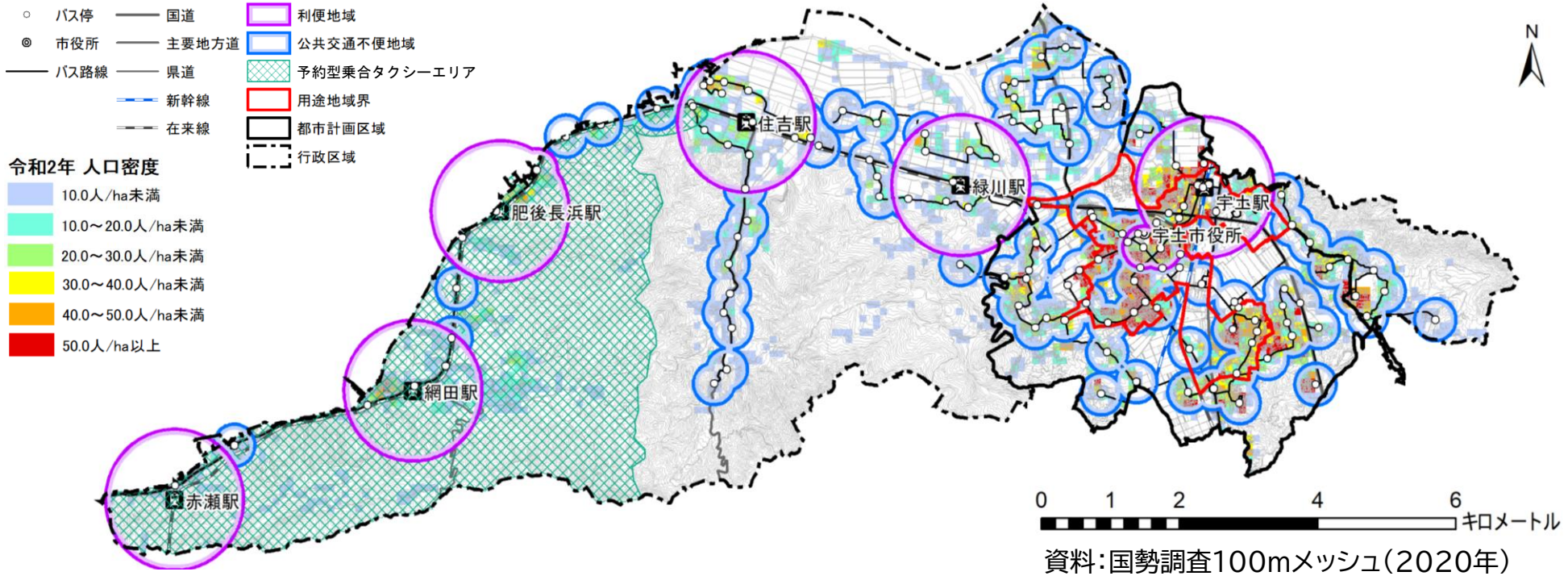
議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（2）公共交通空白地

・公共交通の利用圏域に含まれる地域の人口は33,243人で、市人口の約92%となっています。
（利用圏域内でも、運行本数が少ない公共交通不便地の人口は21,968人で、市人口の約60.8%です）
・利用圏域に含まれない公共交通空白地の人口は2,879人で、市人口の約8%となっています。



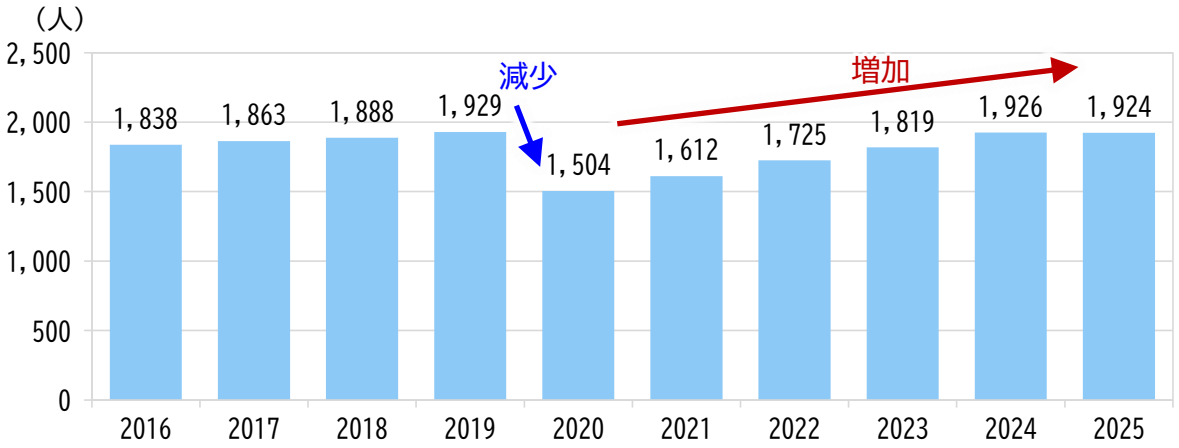
資料：国勢調査100mメッシュ（2020年）

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（３）鉄道（宇土駅）の利用者数の推移

宇土駅の1日当たり乗車人員は、2020年度に大きく減少しましたが、その後は回復し、近年は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前とおおむね同程度の水準で推移しています。
2025年度の宇土駅の1日あたり乗車人員は、1,924人となっています。



資料：九州旅客鉄道（駅別乗車人員）

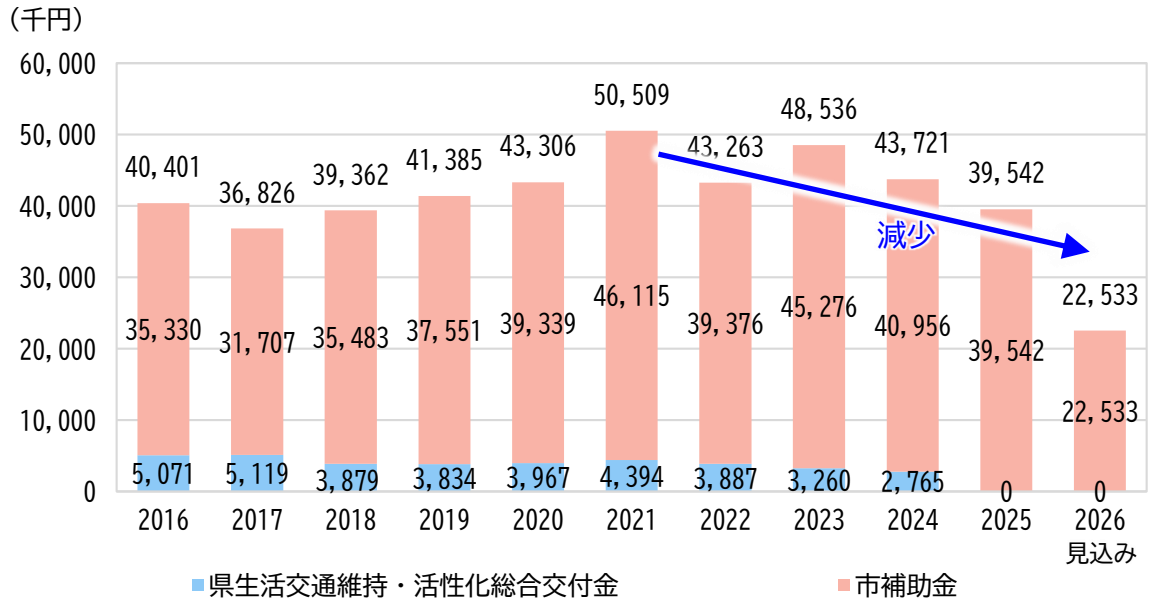
▲宇土駅の1日の乗車人員

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（４）路線バスの財政負担額の推移

路線バスに対する県及び市の補助金額は、2021年度の約5,050万円をピークに減少し、2026年度は約2,250万円の見込みとなっています。2026年度の補助金額の減少には、利用者の減少や乗務員不足を背景として、2025年10月から熊本市内へ直通する6路線が廃止されたことが影響しています。



資料：宇土市資料

▲路線バスに対する県及び市の補助金の推移

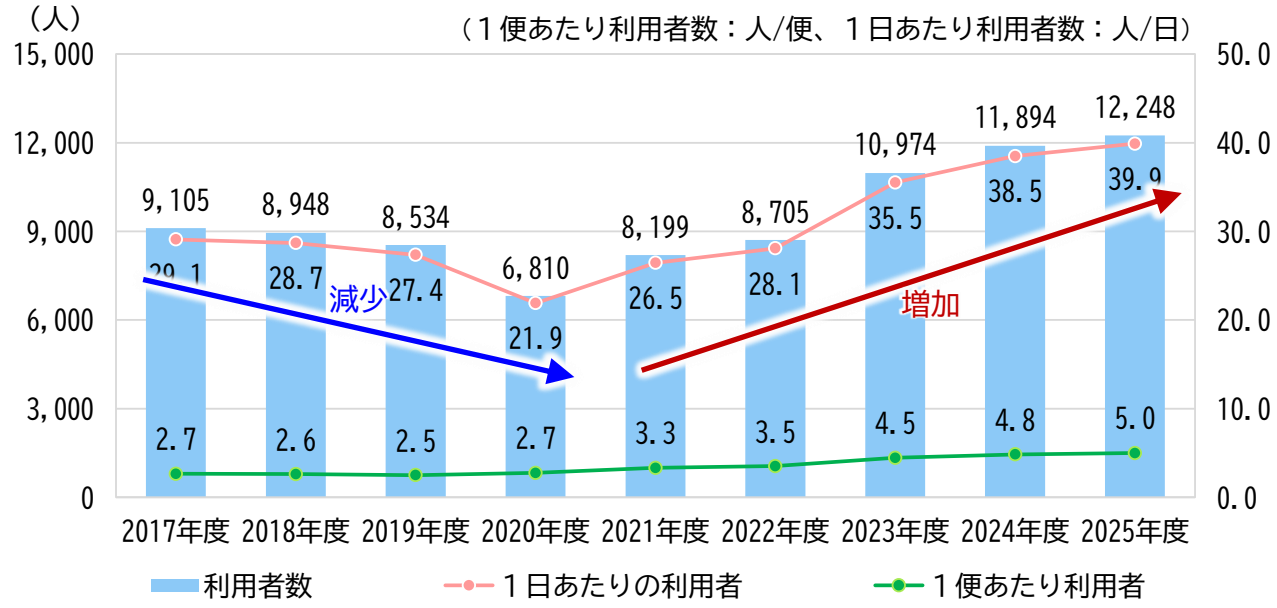
議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（５）①コミュニティバス「行長しゃん号」の利用状況の推移

利用者数は2020年度以降、おおむね増加傾向にあり、2025年度には12,248人となっています。
2025年度の1日あたり利用者数は約40人、1便あたり利用者数は約5人となっています。



資料：宇土市資料

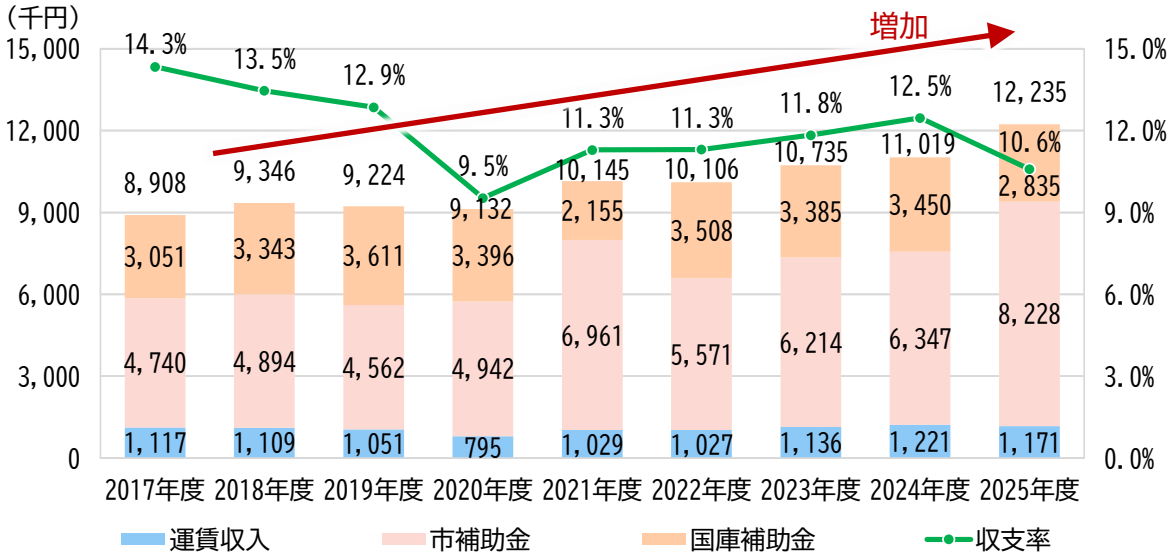
▲コミュニティバス「行長しゃん号」の利用状況



2. 本市の地域公共交通の状況報告

（５）②コミュニティバス「行長しゃん号」の収支状況

運行事業費は増加傾向にあり、2025年度は約1,224万円となっています。一方、収支率は年度によって変動しており、2025年度は10.6%となっています。
また、市補助金額は増加傾向にあり、2025年度は約823万円となっています。2024年度の約635万円から約188万円増加しており、市の財政負担が大きくなっています。



資料：宇土市資料

▲コミュニティバス「行長しゃん号」の収支状況

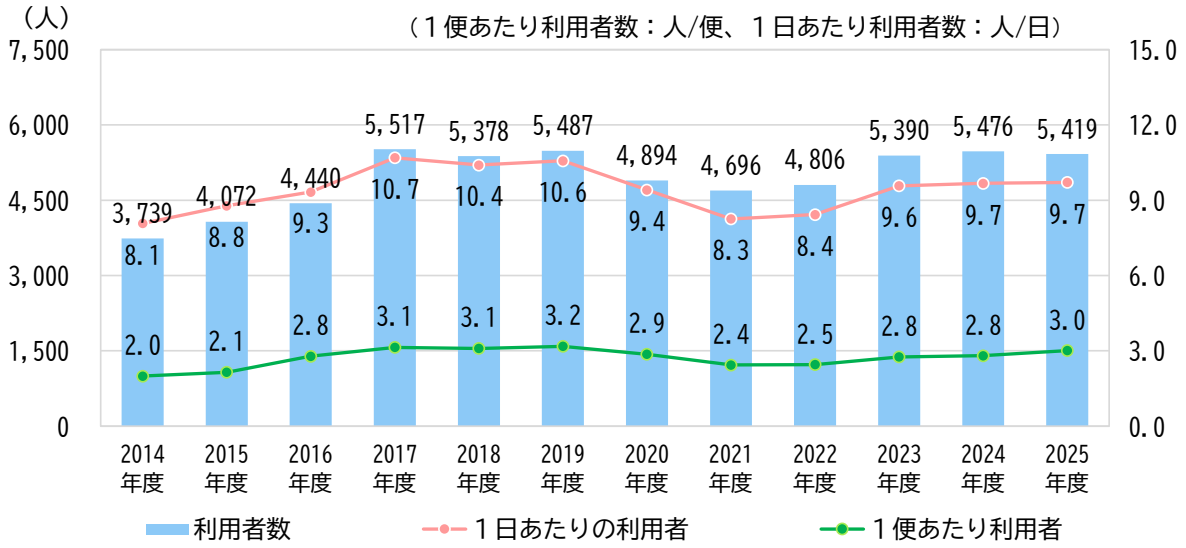
議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（６）①ミニバス「のんなっせ」の利用状況

ミニバス「のんなっせ」は5系統で運行しており、2025年度の利用者数は約5,400人、1日あたり利用者数は約10人、1便あたり利用者数は3.0人となっています。



資料：宇土市資料

▲ミニバス「のんなっせ」の利用状況

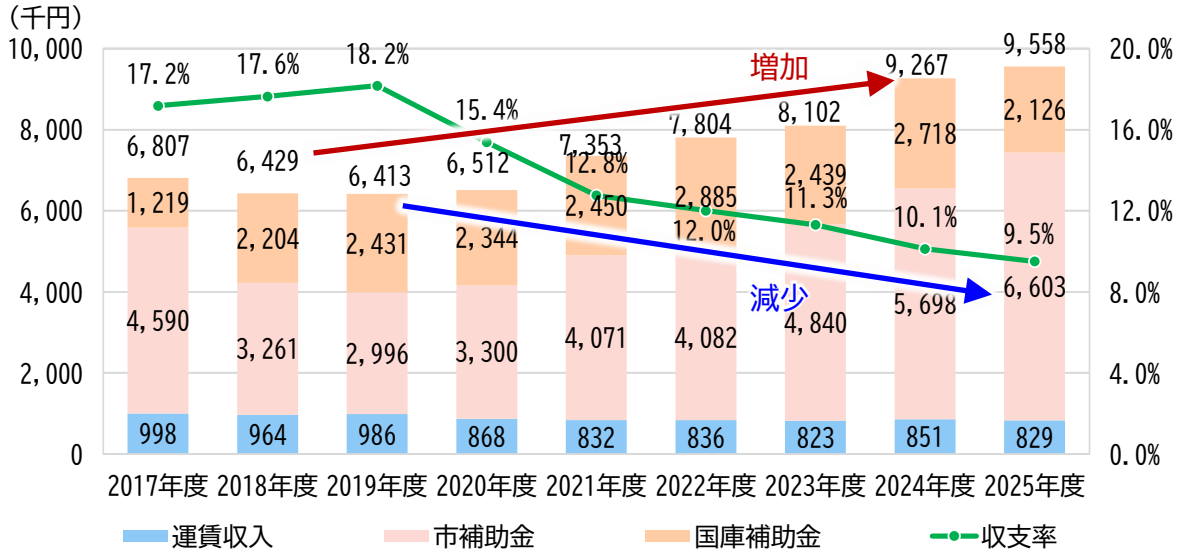


宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（６）②ミニバス「のんなっせ」の収支状況

運行事業費は増加傾向にあり、2025年度は約956万円となっています。一方、収支率は低下傾向にあり、2025年度は9.5%となっています。
市補助金額も増加しており、2025年度は約660万円と、2019年度の約300万円の2倍以上となっています。



資料：宇土市資料

▲ミニバス「のんなっせ」の収支状況

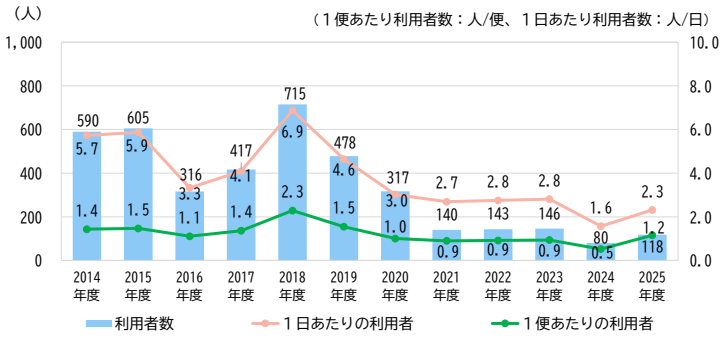
議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

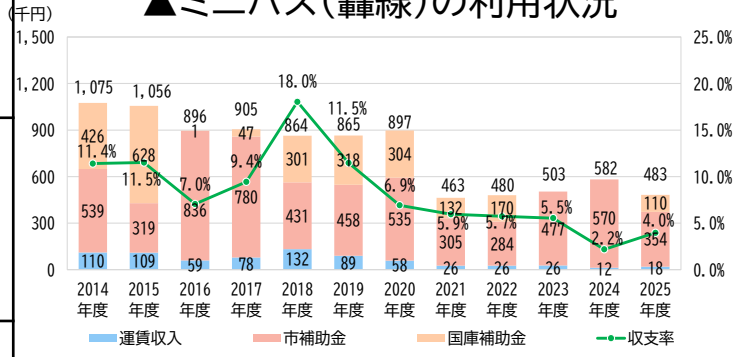
（６）③ミニバス「のんなっせ」の路線別の利用状況及び収支状況

路線名	利用状況及び収支状況
花園北部線	・2025年度の利用者：1,097人（2024年度まで増加傾向でしたが、2025年度は減少） ・2025年度の1便あたり利用者：2.7人 ・2025年度の収支率：9.4%（2019年度の30.9%を境に減少）
花園南部線	・2025年度の利用者：866人（利用者は年々増加傾向） ・2025年度の1便あたり利用者：2.4人 ・2025年度の収支率：9.3%（2020年度の19.2%を境に減少）
轟線	・2025年度の利用者：112人（利用者は年々減少傾向） ・2025年度の1便あたり利用者：**1.2人** ・2025年度の収支率：**4.0%**（2018年度の18.0%を境に減少）
宇土北部線	・2025年度の利用者：1,589人 （新型コロナウイルス流行前の水準（約2,000人）に戻っていない） ・2025年度の1便あたり利用者：3.4人 ・2025年度の収支率：9.3%（2019年度の19.7%を境に減少）
網津・緑川線	・2025年度の利用者：1,749人（2023年度の2,292人から減少） ・2025年度の1便あたり利用者：3.8人 ・2025年度の収支率：10.9%（2017年度の20.7%を境に減少）



資料：宇土市資料

▲ミニバス（轟線）の利用状況



資料：宇土市資料

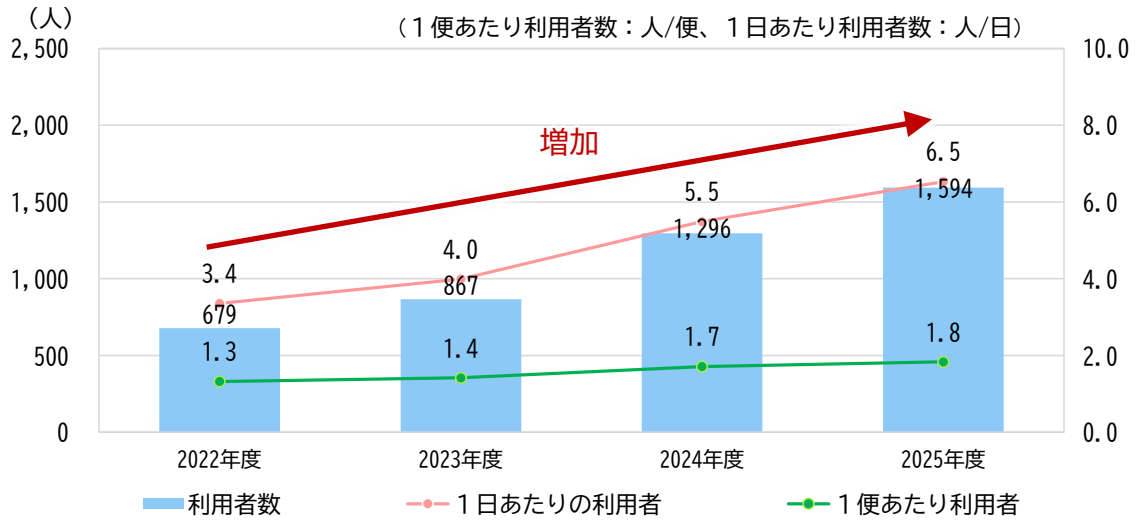
▲ミニバス（轟線）の収支状況

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（７）①予約型乗合タクシー「のりのり号」の利用状況

利用者数は運行開始以降増加しており、2025年度は1,594人となっています。
1日あたり利用者数は約6.5人、1便あたり利用者数は1.8人となっています。



資料：宇土市資料

▲予約型乗合タクシー「のりのり号」の利用状況

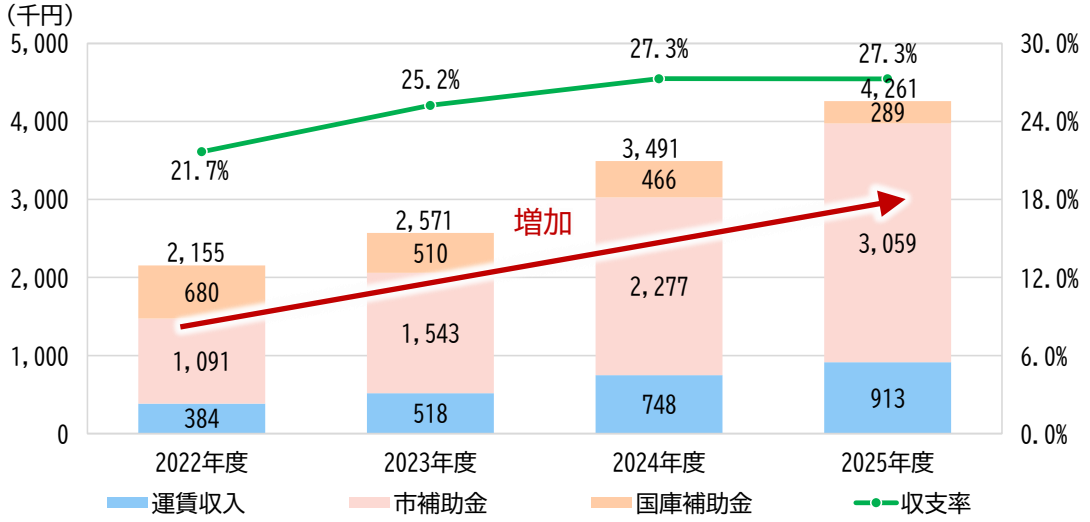


宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（７）②予約型乗合タクシー「のりのり号」の収支状況

運行事業費は増加傾向にあり、2025年度は約426万円となっています。一方、収支率は2024年度及び2025年度ともに27.3%となっています。また、市補助金額は増加傾向にあり、2025年度は約306万円と、2024年度の約228万円から約80万円増加しています。



資料：宇土市資料

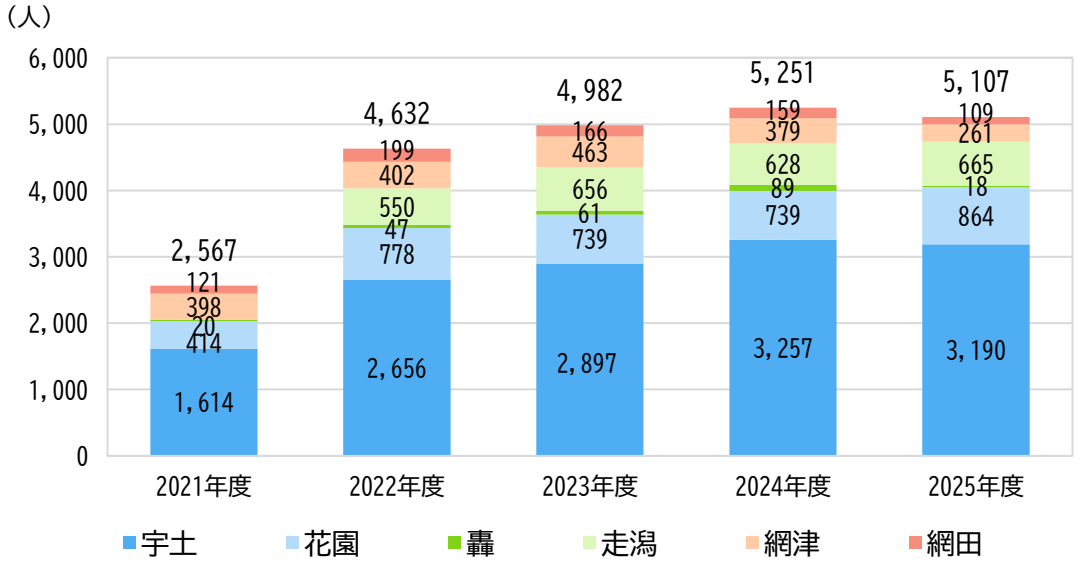
▲予約型乗合タクシー「のりのり号」の収支状況

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

2. 本市の地域公共交通の状況報告

（８）①福祉バス「あじさい号」の利用状況

2025年度の利用者数は5,107人となっています。
地区別では、宇土地区の利用者が全体の約62%を占める一方、轟地区は18人、網田地区は109人にとどまっており、地区別の利用状況に大きな偏りがみられます。



資料：宇土市資料

▲福祉バス「あじさい号」の利用状況



3. 高校生アンケート調査結果報告

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

3. 高校生アンケート調査結果報告

（１）調査の概要

条件	内容
調査日	2026年7月24日(金)
調査対象	熊本県立宇土高等学校の全校生徒　582人
調査項目	・利用者の属性(学年／性別／居住地／部活動への所属) ・ 通学時の交通手段(主な移動手段／送迎状況／登下校の時刻／通学にかかる所要時間／通学定期券の有無) ・ 通学時の路線バスの利用状況(松橋駅～宇土駅間の認知度／利用頻度／利用時刻／路線バスに対する不満点／利用したい時刻) ・公共交通の利用意向(日常生活での利用状況／利用促進施策) ・公共交通の満足度 ・その他ご意見･ご要望
調査方法	①　Webアンケート回答用QRコードを付した依頼文を送付 ② 依頼文を各クラスで掲示または配布 ③ 依頼文のQRコードをスマートフォンまたはタブレット等で読み取り、アンケートに回答
回答者数	517人

宇土高校に通学されている皆さんへ

移動手段・公共交通利用に関する
アンケート回答のお願い



■　アンケート調査へのご協力のお願い　■

宇土市では、今年度、これからの市内の公共交通のあり方を考えるため、「宇土市地域公共交通計画」を見直します。

現在、宇土市内では、JR 鹿児島本線や三角線、路線バス、行長しゃん号、のんなっせなど、さまざまな公共交通が運行されています。

このアンケートでは、宇土高校に通う皆さんが、普段どのような方法で通学しているか、公共交通を利用していて困っていることや、今後利用しやすくするために必要だと思うことなどをお聞きします。

皆さんの声は、これからの宇土市の公共交通をより便利にするための大切な意見になります。

回答内容は、この計画づくり以外には使いませんので、安心してお答えください。

より良い公共交通計画の実現に向けて、アンケートへのご協力をお願いします。

令和８年７月　宇土市地域公共交通活性化協議会（事務局：宇土市役所　企画課）

～回答はこちらから～

右側の QR コードを学校で配布されているタブレット端末やお持ちのスマートフォンで読み取りご回答ください。

下記 URL から回答も可能です。

【WEB 回答 URL】https://arcg.is/05mz1m1

回答期限：令和８年７月 24 日（金）まで

問い合わせ先

【調査全般に関して】宇土市地域公共交通活性化協議会（事務局：宇土市役所　企画課）

担当：堀内、石山　　電話：0964-27-3305

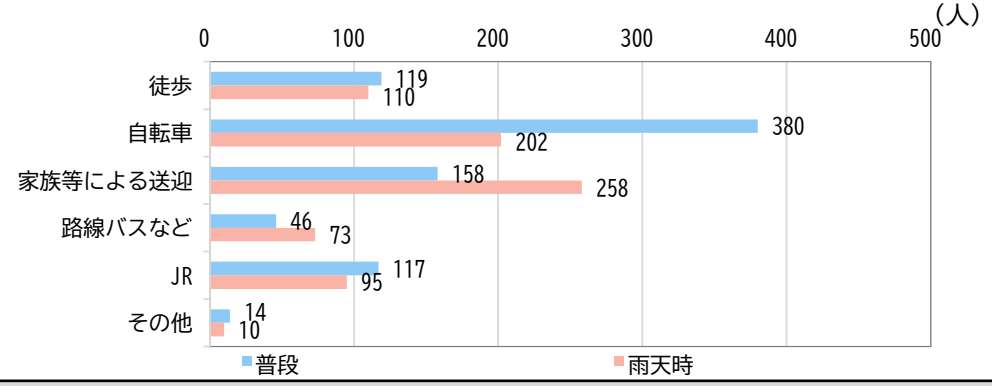
宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

3. 高校生アンケート調査結果報告

（2）調査結果のまとめ

1. 通学手段は自転車と家族等による送迎が中心

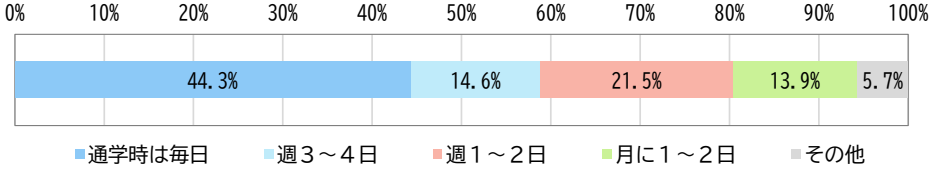
普段の通学手段は自転車が最も多い一方、雨天時には自転車利用が減少し、家族等による送迎や路線バスの利用が増加しています。また、回答者の約42%に当たる216人が、雨天時に通学手段が変わると回答しています。



（複数回答）

2. 家族等による送迎への依存傾向がみられる

普段から家族等の送迎を受けている158人のうち、約84%に当たる**133人が、登校時・下校時の両方で送迎**を受けています。また、全回答者の約18%に当たる**93人が、週3日以上送迎**を受けています。



（普段から家族等に送迎をしてもらっている158人を対象に調査）

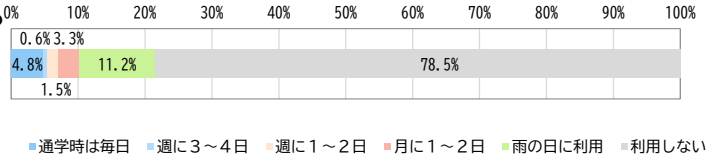
宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

3. 高校生アンケート調査結果報告

（２）調査結果のまとめ

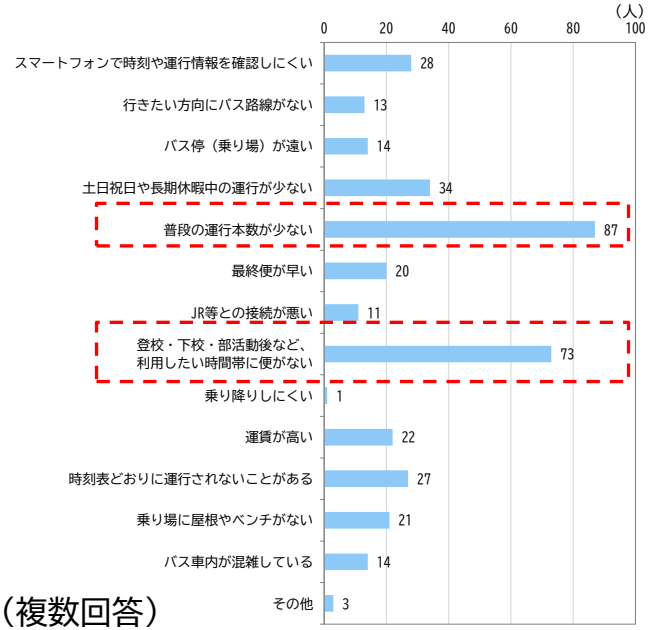
3. 路線バスの利用は限定的だが、雨天時に一定の利用がみられる

路線バスを利用する生徒は111人で、全回答者の約21%となっています。
このうち約52%に当たる58人が雨天時に利用しており、
天候によって路線バスの利用が増加する傾向がみられます。



4. 路線バスの運行本数・時間帯に対する不満が多い

路線バス利用者の不満として、「普段の運行本数が少ない」が最も多く、
「登校・下校・部活動後など利用したい時間帯にない」が続いています。



（複数回答）

（路線バスを利用する111人を対象に調査）

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

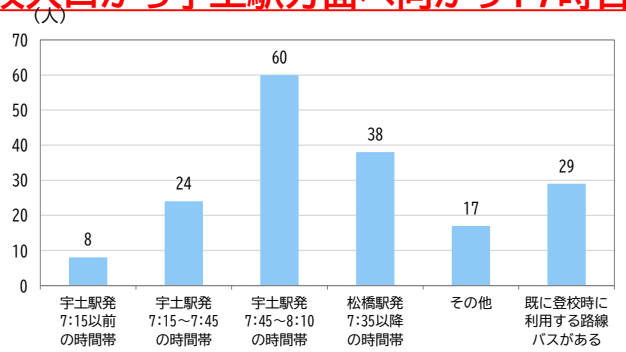
3. 高校生アンケート調査結果報告

（2）調査結果のまとめ

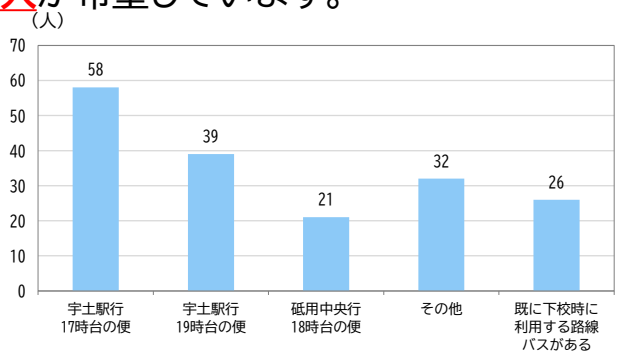
5. 登下校時刻と路線バスの運行時間帯にずれがみられる

登校時は、宇土駅発7時45分～8時10分を60人、松橋駅発7時35分以降を38人が希望しています。
下校時は、宇土高校入口から宇土駅方面へ向かう17時台を58人、19時台を39人が希望しています。

◆路線バスを登校時に利用したい時間帯



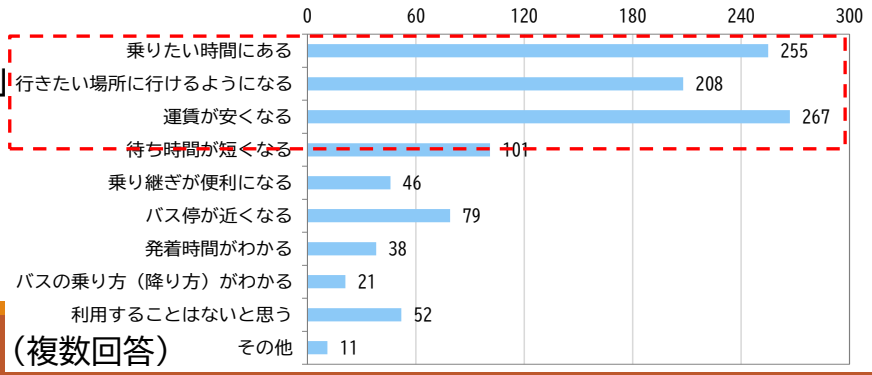
◆路線バスを下校時に利用したい時間帯



（路線バスを利用する111人と、路線バスを利用しない生徒のうち「利用したい時間帯に便がない」と回答した65人の計176人を対象に調査）

6. 運賃、運行時間帯、目的地へのアクセスが利用促進のポイント

利用頻度が向上する条件として、「運賃が安くなる」が最も多く、次いで「乗りたい時間にある」「行きたい場所に行けるようになる」の順となっています。



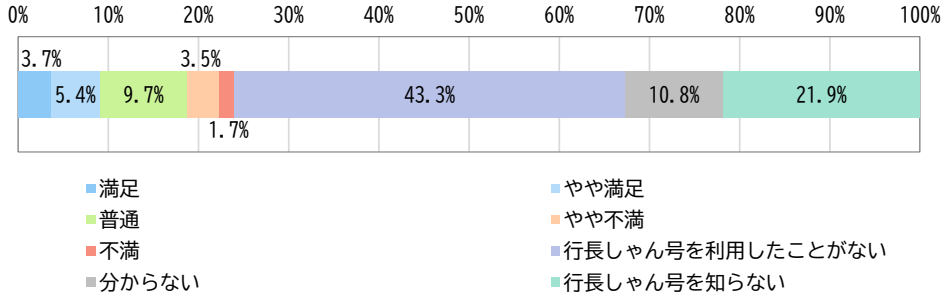
3. 高校生アンケート調査結果報告

（２）調査結果のまとめ

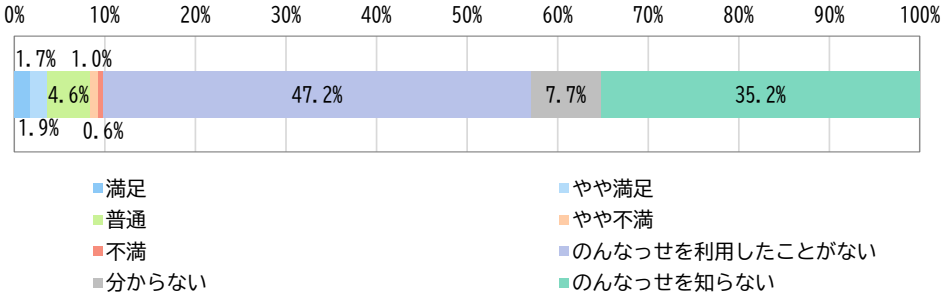
7. コミュニティ交通の認知度・利用経験が低い

行長しゃん号は「利用したことがない」が約43%、「知らない」が約22%であり、両者を合わせると約65%となっています。
のんなっせは、「利用したことがない」が約47%、「知らない」が約35%であり、両者を合わせると約82%となっています。

◆行長しゃん号



◆のんなっせ



宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

3. 高校生アンケート調査結果報告

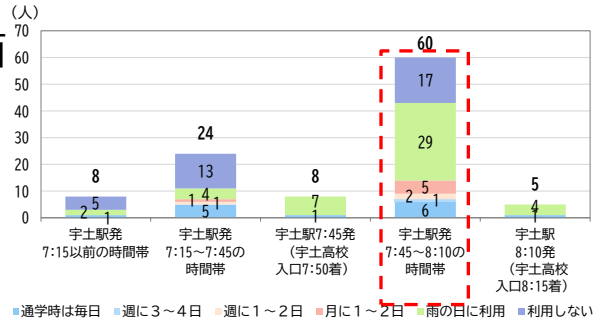
（3）高校生アンケートからみた公共交通をめぐる問題点・課題

1. 登下校時刻と路線バスの運行時間帯のずれ

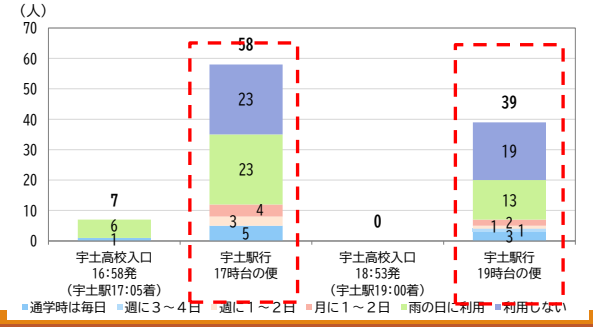
確認された問題点：路線バス利用者からは、「登校・下校・部活動後など利用したい時間帯に便がない」との回答がみられます。また、登校時の宇土駅発7時45分～8時10分、下校時の宇土駅方面17時台及び19時台など、現行の運行時間帯以外にも、一定の利用意向がみられます。

今後の課題：登下校時刻や部活動終了時刻、実際の利用見込み及び運行効率を踏まえ、運行ダイヤ見直しの可能性を検討する必要があります。

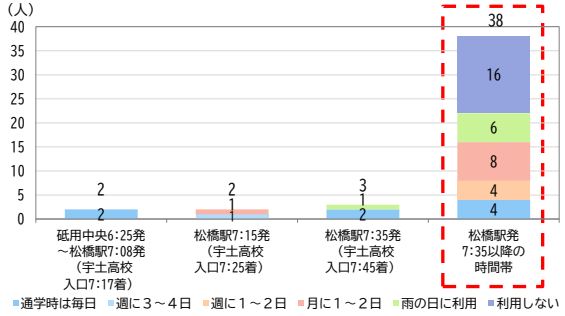
◆宇土駅方面（登校時）



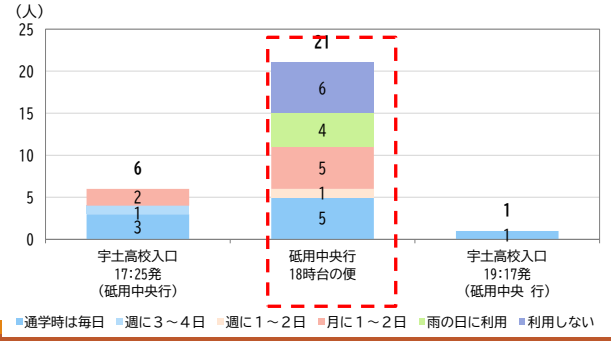
（下校時）



◆松橋駅方面（登校時）



（下校時）



（路線バスを利用する111人と、路線バスを利用しない生徒のうち「利用したい時間帯に便がない」と回答した65人の計176人を対象に調査）

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

3. 高校生アンケート調査結果報告

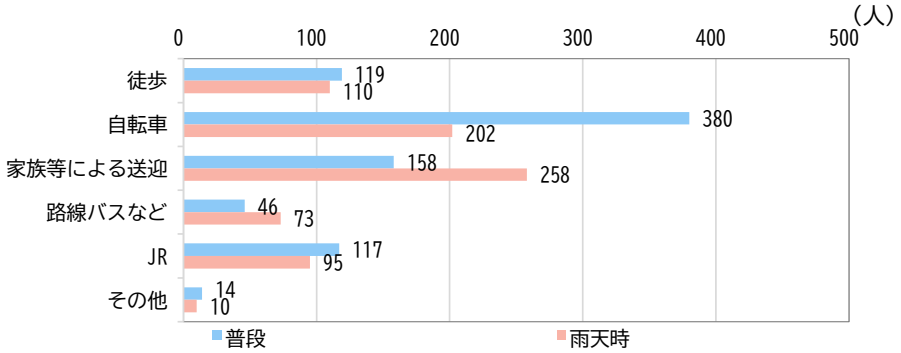
（3）高校生アンケートからみた公共交通をめぐる問題点・課題

2. 家族等による送迎への依存傾向がみられる

確認された問題点：普段から家族等による送迎を受けている生徒は158人で、雨天時には家族送迎がさらに増加しています。

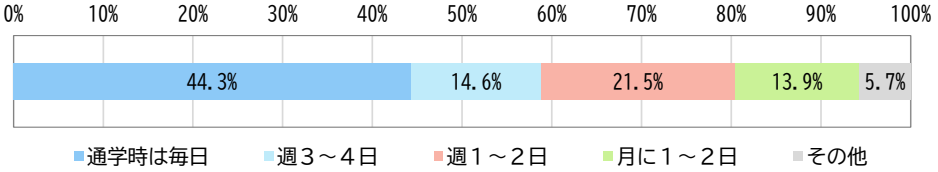
今後の課題：家族の送迎負担を軽減するため、JRや路線バスを選択しやすい通学環境を整える必要があります。

◆普段の通学手段及び雨天時の通学手段



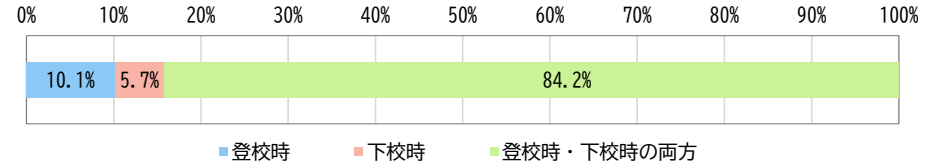
（回答者517人を対象、複数回答）

◆送迎頻度



（普段から家族等の送迎を受けている158人を対象）

◆送迎場面



（普段から家族等の送迎を受けている158人を対象）

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

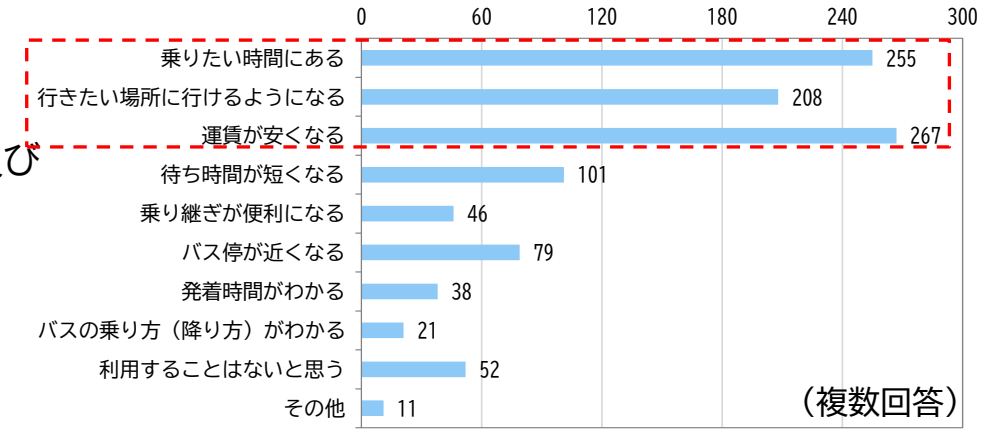
3. 高校生アンケート調査結果報告

（3）高校生アンケートからみた公共交通をめぐる問題点・課題

3. 利用しやすい運賃、運行時間帯及び目的地へのアクセスの確保

確認された問題点：公共交通の利用が増える条件として、運賃、希望時間帯の運行、目的地へのアクセスが多く挙げられています。

今後の課題：高校生が利用しやすい運賃施策、運行ダイヤ及び学校・駅・バス停間の移動環境を検討する必要があります。

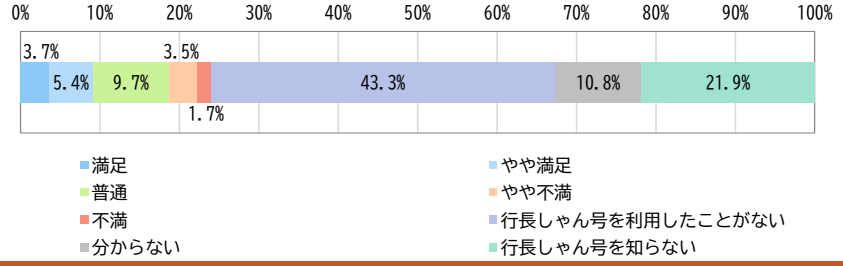


4. コミュニティ交通の認知度・利用経験の不足

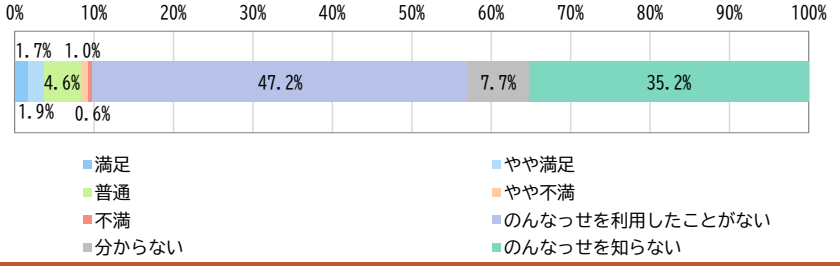
確認された問題点：行長しゃん号、のんなっせを「知らない」「利用したことがない」とする生徒が多くなっています。

今後の課題：高校生に分かりやすい公共交通情報を提供するとともに、利用するきっかけを創出する必要があります。

◆行長しゃん号



◆のんなっせ



3. 高校生アンケート調査結果報告

（４）今後、検討が必要と思われる事項

・高校生の登下校時刻・部活動終了時刻と既存ダイヤの適合状況の検証

・利用意向、実利用見込み及び運行効率を踏まえたダイヤ見直しの可能性の検討
→登校時：（宇土駅発）7時15分～7時45分及び7時45分～8時10分
（松橋駅発）7時35分以降
下校時：（宇土駅方面）17時台及び19時台
（松橋駅・砥用中央方面）18時台

・高校生が継続的に利用しやすい運賃施策の検討

・学校、駅、バス停等を結ぶ通学交通ネットワークの改善

・高校生に対する公共交通情報の周知と利用機会の創出

・交通事業者及び学校と連携した施策の実現可能性の検討

4. 高齢者アンケート調査結果報告

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

4. 高齢者アンケート調査結果報告

（１）調査の概要

条件	内容
調査期間	2026年9月14日(月)～9月30日(水)
調査対象	市内在住の65歳以上の市民から無作為に抽出した900人
調査項目	・回答者の属性(性別／年代／職業／居住地／家族構成) ・日常の外出状況(外出頻度／外出の困難度／普段の移動手段) ・自動車等の保有状況及び免許返納意向 ・買い物、通院及びその他の外出実態 ・公共交通の利用状況、満足度及び問題点 ・今後の公共交通の利用意向 ・公共交通の利用頻度の変化意向 ・ライドシェアの導入意向 ・今後必要な公共交通施策 ・その他ご意見･ご要望
調査方法	① Webアンケート回答用QRコードを付した調査票を郵送 ② 調査票への記入又はQRコードからWebアンケートに回答 ③ 調査票に記入した場合は、同封の返信用封筒により返送
回答者数	478人(郵送回答:448人、Web回答:30人)

調査結果の詳細については、次回の第3回協議会で報告します。
（別紙2に、高齢者アンケート調査結果報告(速報版)を今回提示しています。）

★回答者コード 1793

移動手段・公共交通利用に関するアンケート回答のお願い

■　アンケート調査へのご協力のお願い　■

平素より宇土市の市政推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、このたびの令和８年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

宇土市では、公共交通利用者の減少や人件費・燃料費の高騰、バス・タクシー運転手の不足などにより、今後、公共交通サービスの維持が難しくなることが懸念されています。また、高齢者をはじめとする市民の皆様の日常生活に必要な移動手段を確保するため、地域の実情に応じた公共交通のあり方を検討する必要があります。

このような状況を踏まえ、宇土市では、市民の移動を支える持続可能な公共交通体系の実現を目指し、今後５年間の交通施策の指針となる「宇土市地域公共交通計画」の改訂に向けた検討を進めています。

本アンケート調査は、**震災の影響を調査するものではなく、**日常の移動状況や公共交通の利用状況、ご意見・ご要望をお伺いし、今後の公共交通の見直しを検討するための基礎資料とするものです。**各設問については、地震発生前の状況をもとにご回答ください。**

なお、本調査は市内在住の 65 歳以上の方 900 人を対象に配布しています。震災復旧などでご多忙の中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和８年９月
宇土市地域公共交通活性化協議会
（事務局：宇土市役所　企画課）

【回答方法】 WEB 回答　または　郵送回答

●WEB 回答をご希望の方は右側の QR コードをお持ちのスマートフォンで読み取りご回答ください。下記、URL から回答も可能です。
【WEB 回答 URL】:https://arcg.is/TOniD3
●郵送での回答をご希望の方は、記入済みの本調査票を返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、郵便ポストにご投函ください。

【調査回答期限】令和8年9月 30 日(水)まで

【調査に関するお問い合わせ先】
宇土市地域公共交通活性化協議会（事務局：宇土市役所　企画課）
【担当】堀内、石山　　【電話】0964-27-3305

5. 地域公共交通に対する課題整理

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

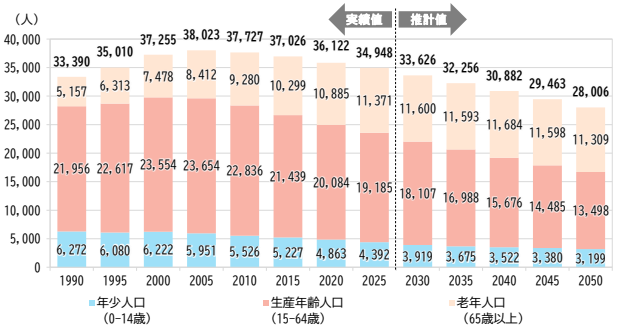
宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

5. 地域公共交通に対する課題整理

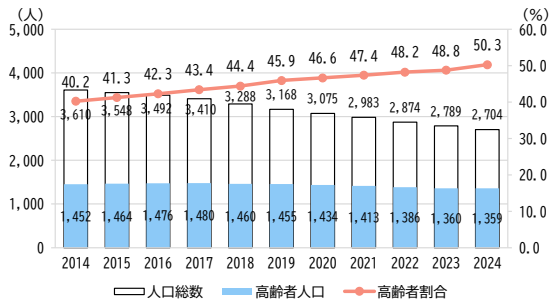
（１）現状・見通しからみた主な論点

① 人口減少・高齢化

・今後も人口減少や高齢化が進行します。
・緑川・網津・網田地区では、人口減少が進んでいます。
・特に網津・網田地区では、高齢者割合が高くなっています。



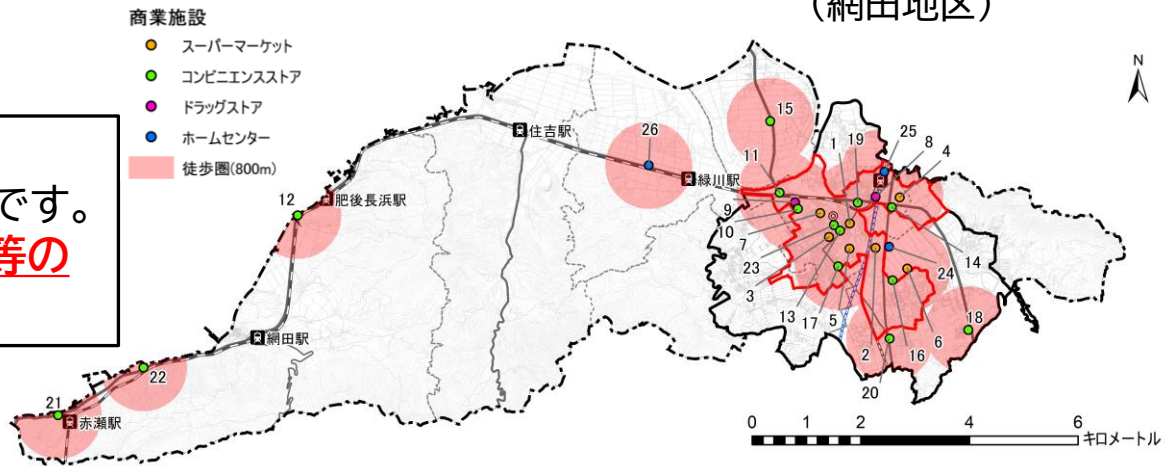
▲年齢3区分別人口の推移



▲地区別高齢者割合の推移（網田地区）

② 生活利便施設と地域特性

・医療・商業施設は中心部に集積しています。
・網津・網田地区の商業施設はコンビニが中心です。
⇒中心部から離れた地区では、**買い物・通院等の移動手段の確保が重要です。**



▲商業施設の分布

議案第1号

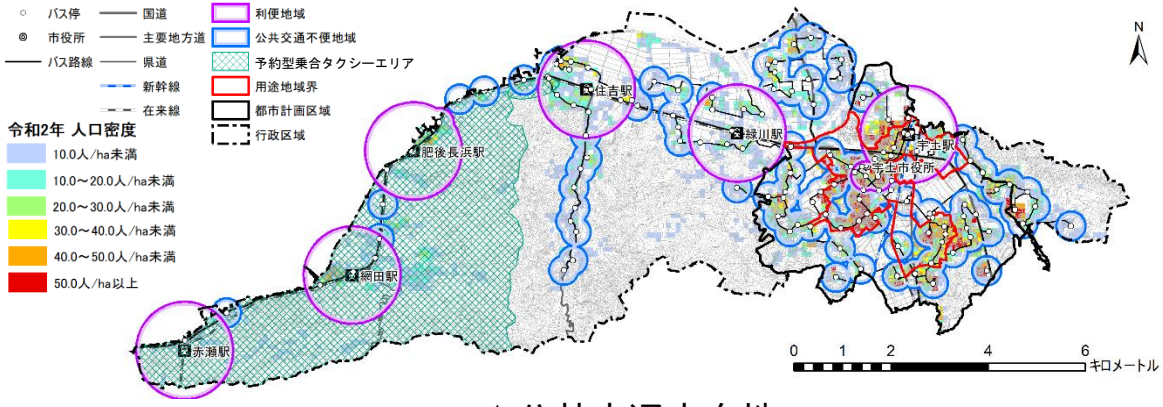
宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

5. 地域公共交通に対する課題整理

（２）公共交通の運行・利用状況からみた主な論点

① 公共交通の利用しやすさの地域差

・公共交通カバー率は市人口の**約92%**です。
・運行本数が少ない公共交通不便地の人口は21,968人と市人口の**約61%**です。
⇒利用圏域内でも、運行曜日・本数・時間帯等により、公共交通を利用しにくい地域があります。

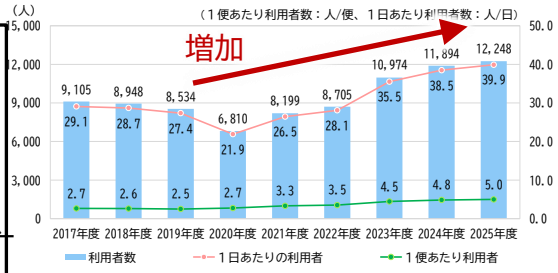


▲公共交通空白地

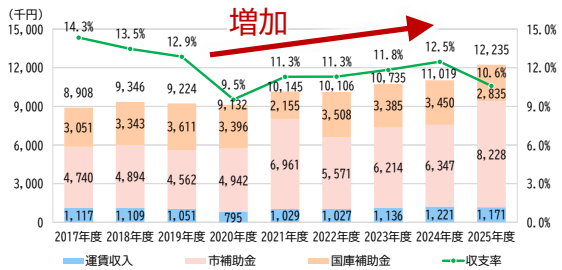
② 利用実態と運行効率

・コミュニティ交通は利用者が増加する一方、財政負担も増加しています。

・路線・方面別に、利用者数、1便あたり利用者数、収支率に大きな差があります。
⇒**需要に応じた路線・区域・曜日・便数の見直しが必要**



▲「行長しゃん号」の利用状況



▲「行長しゃん号」の収支状況

議案第1号

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

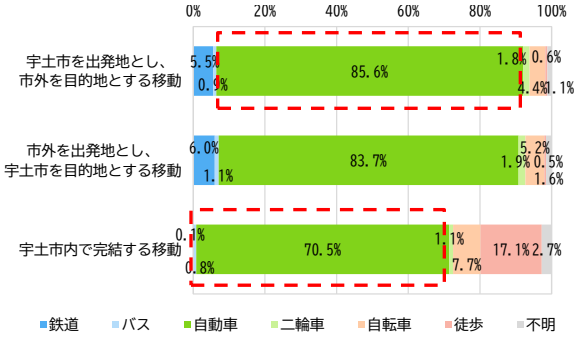
5. 地域公共交通に対する課題整理

（3）市民の移動実態からみた主な論点

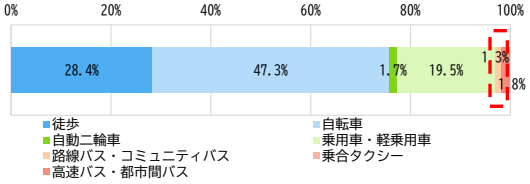
① 市民の移動実態（第5回熊本都市圏パーソントリップ調査）

・市内移動の約71%、市外移動の約86%が自動車
・宇土駅利用後の公共交通への乗り継ぎは約3%と限定的

※第5回熊本都市圏パーソントリップ調査時点（2023年10月）の結果であり、2025年9月の九州産交バス6路線廃止前の状況を示す。



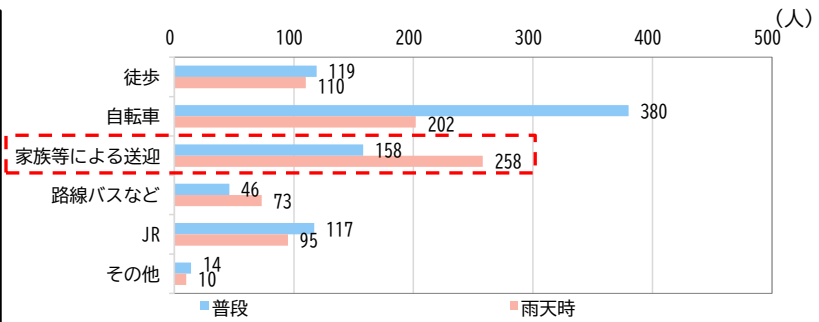
▲代表手段別移動割合



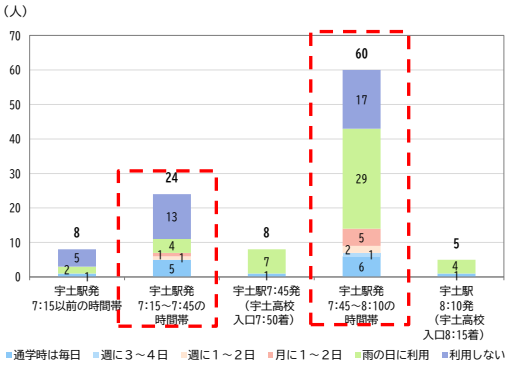
▲宇土駅利用後の交通手段

② 高校生の移動実態（高校生アンケート調査）

・家族等による送迎への依存傾向
・登下校時刻と路線バスの運行時間帯のずれ
⇒利用見込みや運行効率を踏まえた運行ダイヤ見直しの可能性の検討



▲普段の通学手段及び雨天時の通学手段



▲宇土駅方面（登校時）の利用希望時間帯

議案第1号

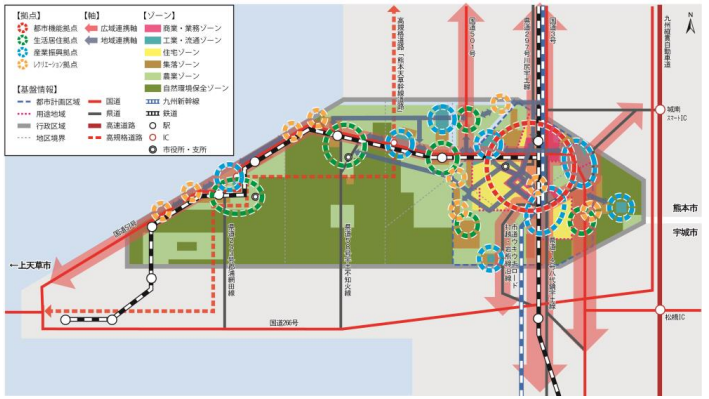
宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

5. 地域公共交通に対する課題整理

（４）上位・関連計画の方向性、事例・国の動向からみた主な論点

① 上位・関連計画の方向性

・持続可能な公共交通ネットワークの構築
・市民ニーズや地域の実情に応じた運行見直し
・交通結節点・待合環境・乗り継ぎの改善
・担い手確保、利用促進、福祉・教育・観光等との連携



▲将来都市構造図（都市計画マスタープラン）

② 事例・国の動向からみた視点

・幹線・支線・デマンド交通の役割分担
・医療・福祉施設等の既存輸送資源の活用
・MaaS・交通情報・キャッシュレス等のDX
・自治体・事業者・地域・関連分野による共創





▲病院送迎車等の既存車両を活用した移動支援の事例
（神奈川県横浜市）

宇土市地域公共交通計画の改定の進捗状況について

5. 地域公共交通に対する課題整理

（５）本市の地域公共交通を取り巻く状況と課題

【3つの視点での整理】

現況

【人口・運行・利用実態からみた問題】
- 人口減少・高齢化により、郊外部の移動手段確保が重要
- 公共交通カバー率約92%だが、不便地人口は約61%
- コミュニティ交通は財政負担・運行効率に路線差
- 自動車利用が中心である一方、宇土駅等へのアクセス確保と鉄道・バス等の接続強化が必要

上位関連計画

【持続可能・共創型の地域公共交通への転換】
- 持続可能なネットワークと地域実情に応じた運行見直し
- 交通結節・乗り継ぎ改善と福祉・教育・観光等との連携
- 幹線・支線・デマンド交通、既存輸送資源の役割整理
- DX・MaaSと多様な主体による共創

住民意向

【高校生・高齢者等が利用しやすい交通への改善】
- 高校生は自転車・家族送迎が中心、雨天時は送迎が増加
- 登下校・部活動後の希望時間帯とバスダイヤにずれ
- 利用促進には運賃・時間帯・目的地アクセスの改善が重要
- 路線・運行目的・利用方法の分かりやすい情報提供が必要

【本市が抱える地域公共交通の課題（案）】

課題1	人口減少・高齢化を見据えた持続可能な公共交通ネットワークの構築
課題2	公共交通不便地・空白地における移動手段の確保
課題3	利用実態に応じたコミュニティ交通の見直しと財政負担の適正化
課題4	運転者不足等に対応した公共交通の運行体制の確保
課題5	自家用車に過度に依存しない移動環境の確保と高齢者等の移動支援
課題6	鉄道・バス等の乗り継ぎと主要拠点へのアクセス向上
課題7	まちづくり・福祉・教育・観光等と連携した地域公共交通の形成

各課題について、複数の根拠が重なって導かれるため、今後は各課題を横断的に捉え、基本理念・基本方針・施策体系へ展開します

5. 地域公共交通に対する課題整理

（６）本市の地域公共交通が抱える課題と今後の方向性（課題１～４）

課題1	**【人口減少・高齢化を見据えた持続可能な公共交通ネットワークの構築】** ・交通モードの役割を明確化し、需要に応じて幹線・支線・区域運行を組み合わせることが必要 ・利用状況や供給力を継続的に確認し、路線・便数・運行形態を柔軟に見直すことが必要
課題2	**【公共交通不便地・空白地における移動手段の確保】** ・運行条件や目的地への到達性等を踏まえ、地域の移動環境を評価することが必要 ・需要や利用目的に応じ、定時定路線・予約型交通・既存輸送資源を活用することが必要
課題3	**【利用実態に応じたコミュニティ交通の見直しと財政負担の適正化】** ・利用者数、収支率、経費、利用目的等を共通指標として把握することが必要 ・需要に応じて運行形態を見直し、利便性・運行効率・財政負担の均衡を図ることが必要
課題4	**【運転者不足等に対応した公共交通の運行体制の確保】** ・運転者の確保・育成や事業者間連携により、輸送資源を有効活用することが必要 ・小型車両やデマンド交通等を活用し、安全性と効率性を確保することが必要

5. 地域公共交通に対する課題整理

（６）本市の地域公共交通が抱える課題と今後の方向性（課題５～７）

課題5	**【自家用車に過度に依存しない移動環境の確保と高齢者等の移動支援】** ・高齢者、障がいのある人、高校生等の買い物・通院・通学を支える移動環境を確保することが必要 ・停留所や予約方法等を改善し、通学・雨天時の需要に対応することが必要
課題6	**【鉄道・バス等の乗り継ぎと主要拠点へのアクセス向上】** ・宇土駅や主要施設への接続を踏まえ、ダイヤや乗降場所を改善することが必要 ・乗り継ぎ環境を充実し、広域連携による利用促進が必要
課題7	**【まちづくり・福祉・教育・観光等と連携した地域公共交通の形成】** ・公共交通を社会基盤と位置付け、関係者間で課題・目標を共有することが必要 ・行政・事業者・地域等の役割を明確にし、共創を進めることが必要

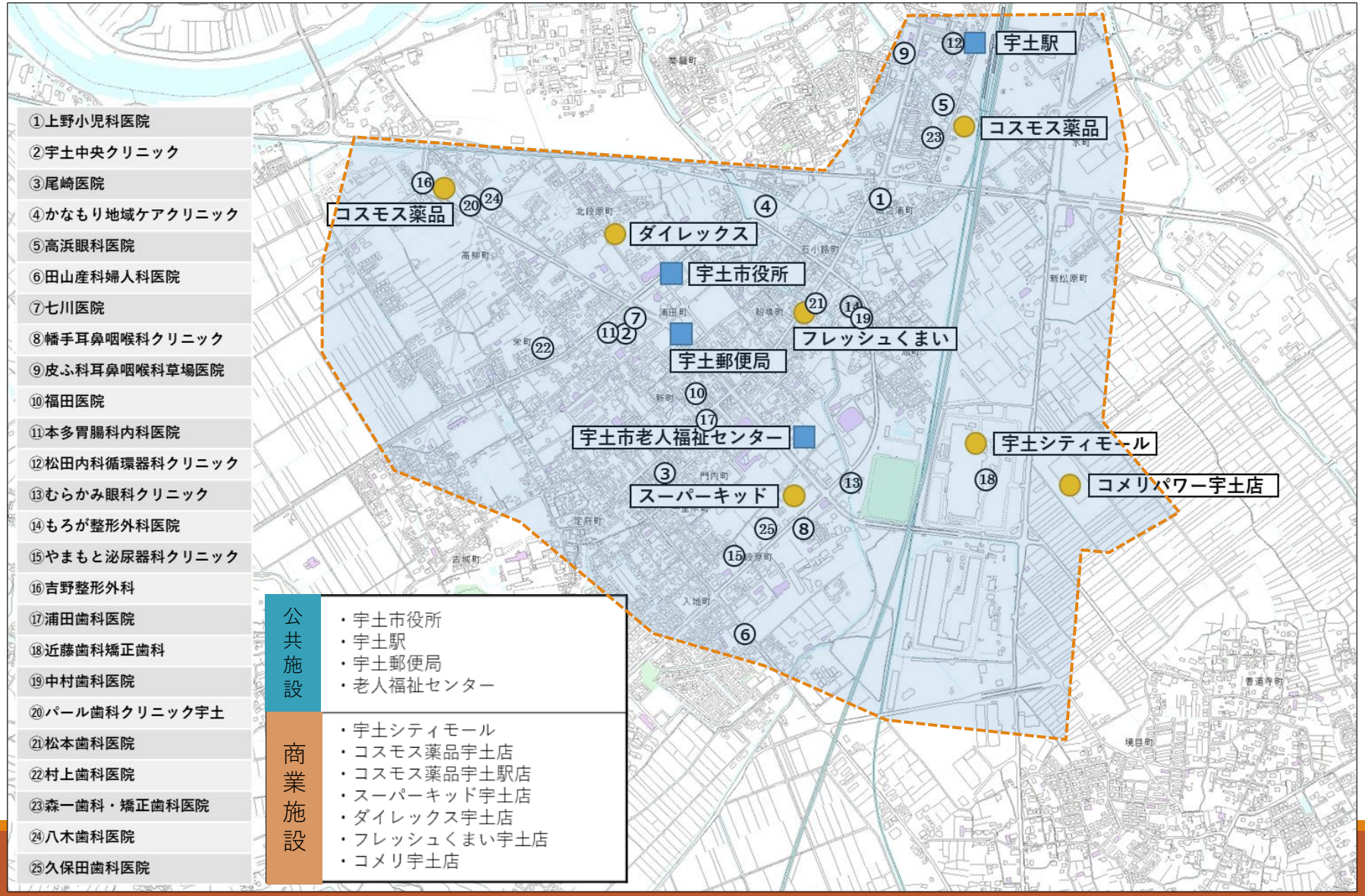
予約型乗合タクシー「のりのり号」新規指定乗降場所等について

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

議案第２号

予約型乗合タクシー「のりのり号」新規指定乗降場所等について

現行の指定乗降場所一覧



議案第２号

予約型乗合タクシー「のりのり号」新規指定乗降場所等について

新規指定乗降場所（案）

⑴カインズ熊本宇土店



⑵⑶肥後銀行宇土支店・熊本銀行宇土支店



⑭もろが整形外科医院は閉院のため削除

今回の追加は、利用者・関係者からの要望により実施するもの。
今後のスケジュールとして、本協議後に運輸局へ届出を行う。12月新規乗降場所利用開始予定。

新たなバス共通定期サービスについて

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

報告第１号　新たなバス共通定期サービスについて

産交バス株式会社、九州産交バス株式会社、熊本都市バス株式会社、熊本電気鉄道株式会社、熊本バス株式会社、熊本市交通局の6社局が、令和9年4月1日よりクレジットカード等のタッチ決済を利用した新たなバス共通定期サービスを開始。

- タッチ決済が利用できるカードやスマートフォン・ウェアラブル端末で利用できるサービス
- 事前に指定した月額上限額に達するまでは都度払いとなり、上限額に達した後は対象運賃の支払いが「なし」となる
- 指定した区間運賃（金額）内であれば、対象路線においてどの区間でも利用可能

券種	対象者	上限額/月	備考
大人	－	運賃×60×0.6	お客様が指定する区間運賃額が上限額算定の対象となり、指定額を超えた運賃は上限額算定の対象外
通学	学生（小学生を除く）	運賃×60×0.5	
大人障がい	障がい者（大人）	一律5,040円	対象路線のすべての運賃が上限額算定の対象となる
シニア	70歳以上	一律7,200円	
小児	小学生以下	一律3,000円	
小児障がい	障がい者（小学生以下）	一律3,000円	

【適用路線のうち宇土市の協議路線】 行長しゃん号

【実施日】 令和9年4月1日（木）～

今後の予定

第２回宇土市地域公共交通活性化協議会

今後の予定

（１）交通事業者様ヒアリング調査へのご協力のお願い

・運行実績のみでは把握できない現場の課題や制約等を把握し、実現性の高い交通体系を検討するため、ヒアリングを実施します。

項目	内容
調査対象	九州旅客鉄道株式会社、産交バス株式会社、熊本バス株式会社、西田タクシー、宇城タクシー
調査時期	11月中旬～12月上旬頃（次回協議会までの間）
調査方法	ヒアリングシートの送付を基本とし、必要に応じて電話、対面又はWebにより補足確認を実施
調査内容	現行運行体制・経営状況、サービス供給面の問題、サービスの持続可能性、運行効率化・省力化、行政支援に関する意向

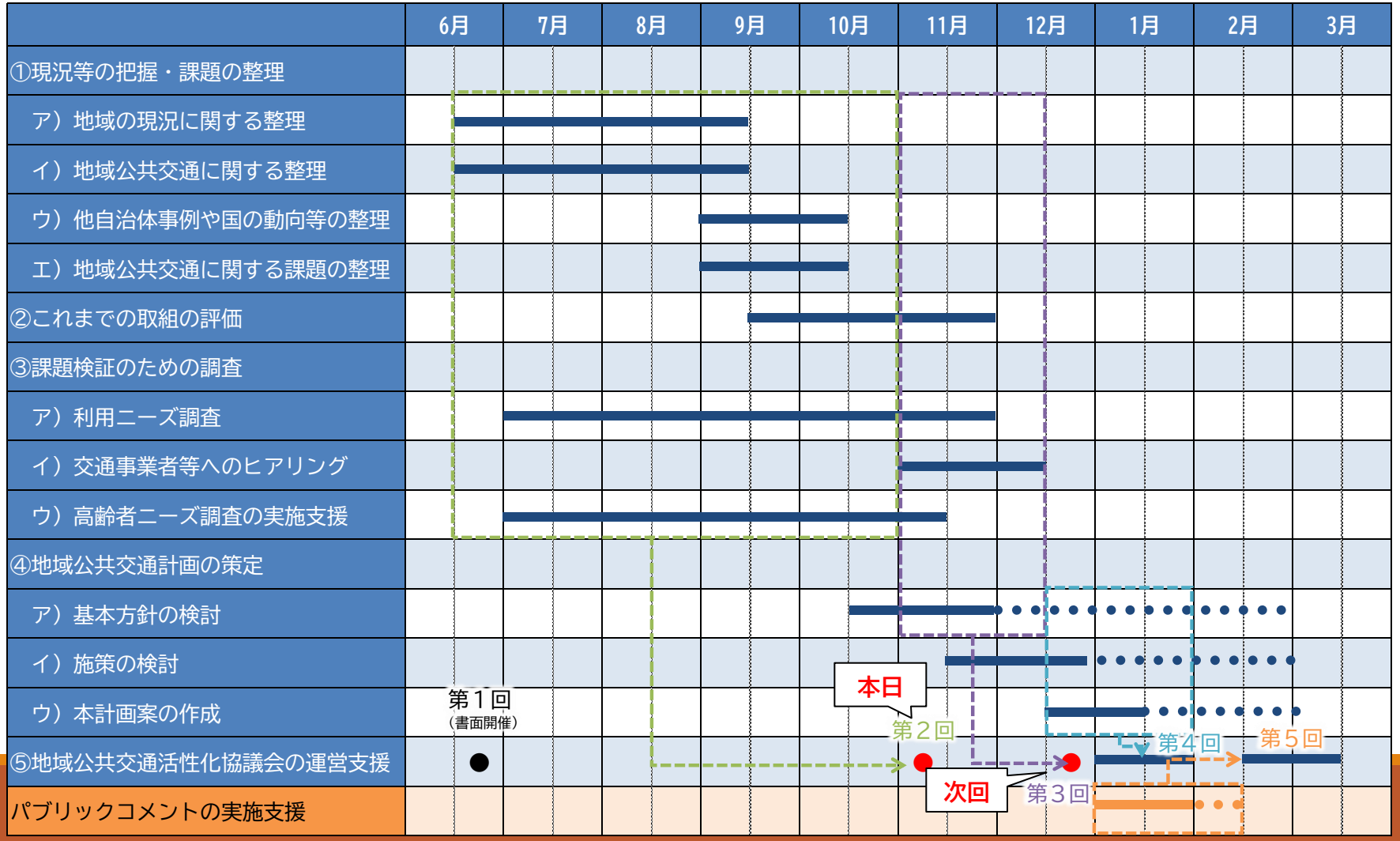
今後の予定

（２）地域公共交通活性化協議会の主な議題

開催回	地域公共交通活性化協議会の主な議題
第1回 （令和8年6月25日(木)） ※書面開催	・宇土市地域公共交通計画の改定について【報告事項】 ・改定スケジュールについて【報告事項】
第2回 （令和8年11月4日(水)） （本日）	・宇土市の現況等の把握・課題の整理について【報告事項】 ・課題検証のための調査(高齢者・高校生アンケート)について【報告事項】
第3回 （令和8年12月23日(水)） （次回予定）	・これまでの取組の評価について【報告事項】 ・課題検証のための調査(高齢者アンケート・交通事業者等へのヒアリング)について【報告事項】 ・地域公共交通計画の策定について(基本方針の検討部分)【協議事項】
第4回 （令和9年1月中旬頃）	・地域公共交通計画の策定について(施策の検討部分)【協議事項】 ・パブリックコメントの実施について【協議事項】
第5回 （令和9年2月下旬～3月上旬頃）	・パブリックコメント結果及びその対応について【報告事項】 ・宇土市地域公共交通計画の策定について【協議事項】

今後の予定

（３）工程表


6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
①現況等の把握・課題の整理
ア）地域の現況に関する整理
イ）地域公共交通に関する整理
ウ）他自治体事例や国の動向等の整理
エ）地域公共交通に関する課題の整理
②これまでの取組の評価
③課題検証のための調査
ア）利用ニーズ調査
イ）交通事業者等へのヒアリング
ウ）高齢者ニーズ調査の実施支援
④地域公共交通計画の策定
ア）基本方針の検討
イ）施策の検討
ウ）本計画案の作成
⑤地域公共交通活性化協議会の運営支援
パブリックコメントの実施支援
第１回
（書面開催）
本日
第２回
次回
第３回
第４回
第５回